

学校教育目標 **自ら伸びる**

府中町学校教育の重点
「あいさつ・感謝・志」

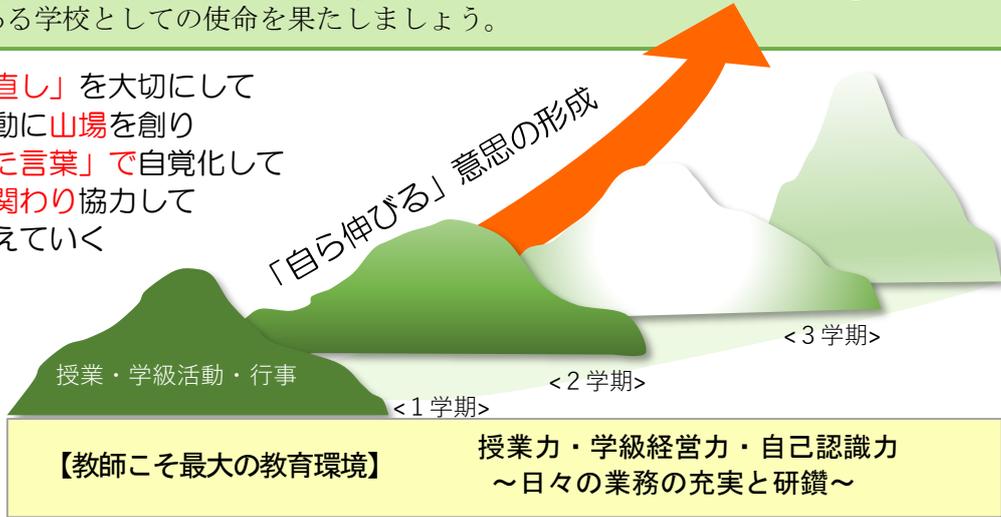
学校経営理念 「学校は子どもが育つ土壌である」(元府中中央小学校長 藤原凡人氏)

学校は人の集まる場所です。子どもも大人も成長し、育っていく場所です。人は環境に影響を受けながら、人との関わりの中で育ちつつ、自分で自分を創っていくものです。

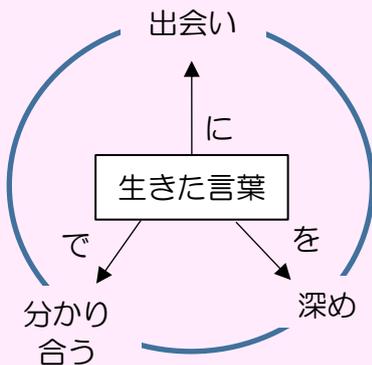
学校は、たとえて言えば、植物の成長に必要な土壌の役割を果たすところと考えます。土壌を柔らかく耕し、新しい空気を入れ、適度な水分や養分、温度があれば、植物はしっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせます。小学校は、人間として成長していくための確かな根っこ(基礎基本)を育てるところです。

今実践している教育活動が「子どもが育つ土壌を耕すことになっているか」を問い直しながら、地域にある学校としての使命を果たしましょう。

「問い直し」を大切にして
教育活動に山場を創り
「生きた言葉」で自覚化して
他者と関わり協力して
乗り越えていく



「問い直し」のサイクル
【学びの型】



「生きた言葉」で暮らしを創る【はちの子の心得】

学校教育目標「自ら伸びる」	
学年経営	4・5月 どんないい運動会をめざし、それを自分たちはどう創るか？ 6・7月 どんないい授業をめざし、それを自分たちはどう創るか？
学級経営 学級目標	9・10月 どんないい学級(学年)をめざし、それを自分たちはどう創るか？ 11・12月 どんないい学びの姿をめざし、それを自分たちはどう創るか？
	1・2・3月 次の年にはどんな学習集団をめざし、それを自分たちはどう創るか？

<ねらいたい資質・能力>

<p>知識及び技能 場や相手に応じて適切な言葉や効果的な表現を選択していく。</p>	<p>思考力・判断力・表現力 他者との関わりの中で、自分の言葉を深め、自分の思いや考えを問い直し、表現していく。</p>	<p>学びに向かう力・人間性 他者との関わりの中で、自己認識力を高め、より良い自分を求め考えていく。</p>
---	---	---

<研究主題>

「自ら伸びる」意思を形成する学びの創造
～協働的な学びと個別最適な学びの往還を通して～

コミュニティ・スクールの「願い」

大人も子どもも Happyに！

子どもが育つ土壌をつくろう！